

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成19年 9月3日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：12件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	供用期間中検査対象機器である主蒸気系配管サポート（1ヶ所）が、対象機器として記載されていないことが認められたため、対応検討	B	9月27日再審議にてグレード変更 C → B
2	1号機	排ガス系活性炭ホールドアップ装置共用空気圧縮機ドレンセパレータ水位計の下部取出し配管付け根部及び水位計本体排水用コック弁付け根部において、水のリーク（1滴／10秒程度）が認められたため、当該部を点検・修理	D	
3	2号機	補助海水系硫酸第一鉄注入ポンプ出口圧力計において、指示不良（ドリフト）が認められたため、当該圧力計を点検・修理	D	
4	2号機	廃棄物処理建屋中央制御室の現場監視用モニターテレビにおいて、新廃棄物地下貯蔵設備制御盤の映像不良が認められたため、当該モニターを点検・修理	D	
5	2号機	所内ボイラ重油タンク補給用電磁弁において、動作不良（スティック）が認められたため、当該弁を点検・修理	D	
6	3号機	原子炉建屋気密性能検査終了後、非常用ガス処理系（A）停止後の中央制御室盤流量指示調節器に指示不良（ドリフト）が認められたため、当該計器を点検	C	
7	4号機	中央制御室移動式炉内計装系制御盤内ファンに異音の発生が認められたため、当該ファンを点検・修理	D	
8	4号機	硫酸・苛性ポンプピット階段用手摺りに腐食が認められたため、当該部を修理	D	
9	5号機	廃棄物処理系床ドレン収集ポンプ点検時、インペラとウェアリングの間隔値に許容値外れ及びシャフトスリーブに摩耗が認められたため、当該部を修理	D	
10	6号機	主蒸気逃し安全弁（FO13E）において、排気管温度に一時的な上昇が認められたため、温度変化状況確認を継続	C	
11	集中環境施設	海水冷却系ストレーナ（A）自動逆洗排水配管において、ピンホールが認められたため、当該配管を点検・修理	C	
12	集中環境施設	雑固体焼却炉（A）固着灰除去装置において、移動台車の走行不良が認められたため、当該台車用レールを点検・清掃	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・安全上重要な機器等の軽度な故障（技術基準に適合する場合） ・管理区域内の放射性物質の軽度な漏えい ・原子炉等への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・主要パラメータの緩やかな変化 ・人の負傷または病気の発生 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」（JEAG4101-2000より）

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- As : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 保安規定に関わる不適合事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話 : 0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで